

* 前期比：D I・季節調整済

景況

業況は、食料品製造業で悪化傾向を弱め、その他製造業では大きく悪化傾向を弱めました。木材・木製品製造業、家具・装備品製造業、窯業・土石製品製造業は横ばいとなりました。出版・印刷・同関連産業、建設用・金属製品製造業で若干悪化傾向を強めました。全体としては-51と前期比17ポイント悪化傾向を弱めました。売上額、収益はともに減少傾向を弱めました。価格面では、販売価格は下降傾向を強め、原材料価格は上昇傾向を強めました。原材料在庫は過剰感を弱めました。資金繰りは窮屈感が大きく弱まりました。残業時間は減少傾向を強め、人手はわずかに過剰感を強めました。設備の状況は不足感を弱めました。設備投資を実施した先は車両を中心に20%と、前期比7ポイント増加しました。

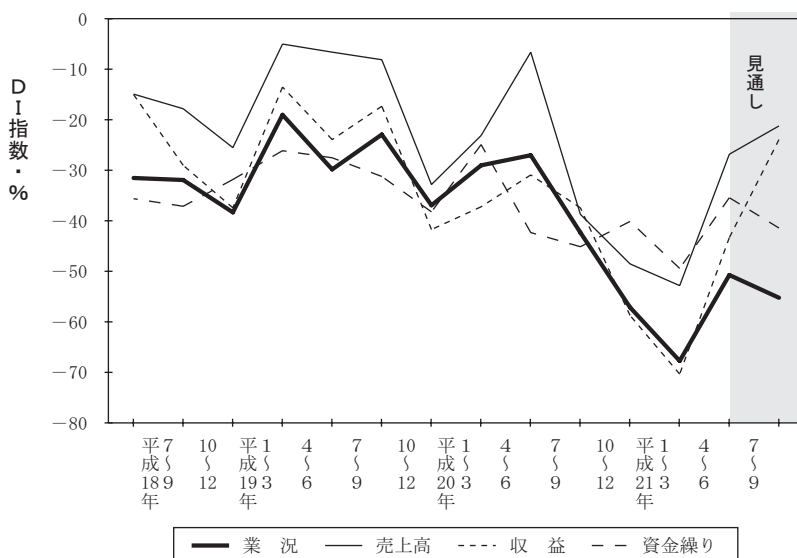
来期の見通し

業況は、木材・木製品製造業で大きく悪化傾向を弱め、家具・装備品製造業、窯業・土石製品製造業で横ばいとなりそうですが、食料品製造業、出版・印刷・同関連産業、建設用、金属製品製造業、その他製造業では悪化傾向を強めるとみているため、全体的には、来期-55と悪化傾向を若干強めるとみています。売上額、収益は今期同様減少傾向を弱めるとみています。価格面は、販売価格は下降傾向を弱め、原材料価格は上昇傾向を強めるとみています。原材料在庫は過剰感が若干強まりそうです。資金繰りは窮屈感が強まるとみています。残業時間は減少傾向が弱まり、人手は横ばいとなりそうです。設備の状況は不足感が強まりそうですが、設備投資については機械設備の更改を中心に16%の先が実施の予定とし、今期に比べて4ポイント減少するとみています。

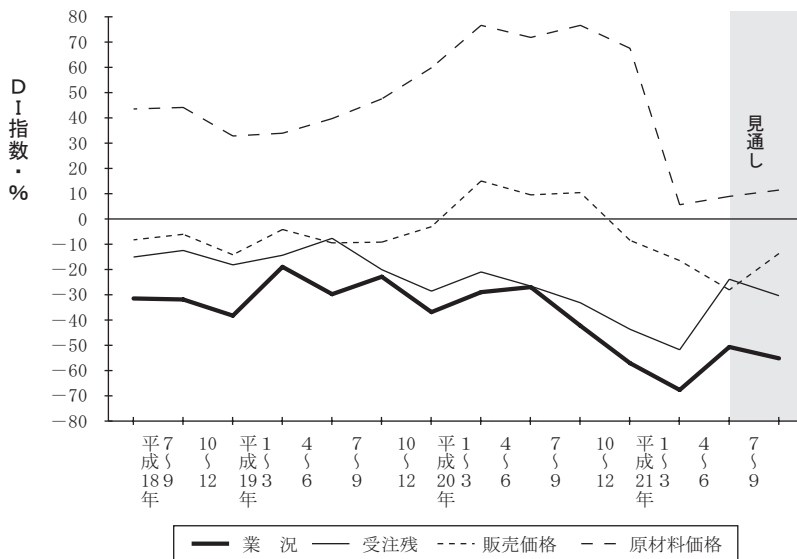
調査員のコメント

- 売上、収益等昨年並みに推移しており、固定客に恵まれ順調な経営振りがうかがえる。(製菓業)
- 一般の注文は減少しているが、現在車椅子の座面の特許を申請しており、取得後の売上の期待があり、今後はインターネット等を活用した販路確保が課題である。(椅子・テーブル製造業)

景況の推移



主な指標の動き



業種別業況判断DIの推移

今期 21年 4月～6月) / 前期 21年 1月～3月)

		△100	△90	△80	△70	△60	△50	△40	△30	△20	△10	0	10	20	30	40
食料品	業況	● → ○														
その他製造業	業況	● → ○														
出版・印刷・同関連産業	業況	○ → ●														

経営上の問題点	1位	63%
	2位	36%
	3位	31%

当面の重点経営施策	1位	63%
	2位	60%
	3位	30%

*()は前回順位